

進路だより

第5号

岡山県立岡山瀬戸高等支援学校 進路・就労支援係 令和8年9月4日（金）

地域との連携について

例年、居住地の支援機関との連携を図るため、夏休み中に各地域の障害者自立支援協議会等主催で「福祉制度説明会」や「地区別懇談会」が開催されます。

1年生は、居住地ごとに保護者対象の「福祉制度説明会」が開催されました。様々な福祉サービスの概要や手続き等についての説明がありました。

2年生は、居住地ごとに生徒・保護者対象の「地区別懇談会」が開催されました。相談支援事業所や相談支援専門員の役割と仕事の説明の他、地域の相談支援事業所の紹介や希望者には個別相談体験の時間もありました。

3年生は、生徒と保護者の方が、居住地にある相談支援機関（地域活動支援センター等）の訪問をしました。どのような活動をしているか、どのようなときに利用できるか等を確認しました。3年生の3学期に開催される「移行支援会議」に参加してくださる場合や卒業後の生活のサポートをしていただくこともあります。

卒業後の相談先

登校日の8月20日（木）に、3年生は生徒と保護者、2年生は保護者をそれぞれ対象とした進路研修会がありました。卒業生も、数多くサポートしていただいている支援機関の一つである、岡山障害者就業・生活支援センターの方を講師としてお招きしました。働き続けるために必要なこと（社会人としてのスキルや人間関係づくり、コミュニケーションの大切さなど）、そして卒業までに学校や家庭で身に付けておきたい力等を丁寧に教えていただきました。

障害者就業・生活支援センターとは？

障がいのある方の仕事やそれに伴う生活の困りごとに関する相談を受けてくれます。また事業主の方々への支援も行っています。

現在、岡山県には、地域ごと（岡山、倉敷、津山、高梁）に4カ所のセンターがあります。



身近に相談できる場所や人とつながっておくことは、社会参加や就労生活の継続に結びつきます。将来の自分に備えて、家族以外にも「困ったときに助けてくれる、相談に乗ってくれる人」とつながっていてほしいと思います。